

Why Kyndryl?

---

# セキュリティのその先、 サイバーレジリエンスへ



kyndryl.

# 企業のトータルリスクマネジメント、実現できていますか？

今、世界は予測困難な時代に入り、パンデミックや自然災害、国際紛争やサイバー攻撃といった多くの課題に直面しています。特に、サイバー攻撃は世界経済フォーラム（ダボス会議）においても「トップリスク」の1つとして取り上げられ、世界経済のサプライチェーンの一部となる日本も、世界水準の対策を求められています。しかし、**企業がセキュリティ対策にコストをかけているにもかかわらず、被害が増加し続けているのが現状です。**そこで求められるのは万一の事態にもビジネスを停止せず、復旧までの道筋を確かなものにする適応力。セキュリティを見直すということは、生産性を向上させ、ビジネスを加速させることにつながります。

## セキュリティのその先、「復旧」までを見通す。



セキュリティを見直すポイントは？



keyword

サイバーレジリエンス

## IT運用に、回復力と継続性のあるフレームワークを。

脅威に対峙した時に必要なのは、一般的なセキュリティの考え方である「防御」「対応」に加え、ビジネスの復旧と継続までをも見据えたサイバーレジリエンスです。キンドリルでは「予測」「防御」「対応」「復旧」という4つのアプローチを軸にした「サイバーレジリエンスフレームワーク」という枠組みを提案しています。これは従来のサイバーセキュリティだけに留まらずインシデント発生時に業務を遂行できる状態へ戻すことに主軸を置いたフレームワークです。サイバーレジリエンスフレームワークでビジネスを支える土台となる最適なリスクマネジメントをサポートします。



# サイバーレジリエンスに、キンドリルを選ぶ理由



企業の  
サイバーレジリエンス態勢  
を知る「予測」

## 解決すべき課題

サイバーインシデントに対するリスクマネジメントやガバナンスに課題を抱えている。

Why Kyndryl?

## インシデントの特定と予測 ガバナンス運用までサポート

セキュリティに関する深い知識を有したエキスパートがお客様と向き合い、**企業のサイバーレジリエンスを評価し、脅威を予測**。脆弱性と脅威を見える化し、自社だけではハードルの高い**セキュリティガバナンスの整備と運用を支援**することで、リスクを低減します。



ゼロトラスト機能を  
組み込んだ「防御」

## 解決すべき課題

ゼロトラストで何から手を付けるべきか、どこまで取り入れるべきかわからない。

Why Kyndryl?

## ゼロトラストと境界型防御 適材適所のセキュリティへ

テレワークの普及で、社内、社外、PC、スマホなど**管理対象が増加**しました。今、**従来の境界型防御だけでなく、ゼロトラストセキュリティと境界型防御のハイブリッドなセキュリティ**が求められています。キンドリルではMFA(多要素認証)やIDaaSを活用し、クラウドからオンプレまで、企業の情報資産を守ります。



事前に異常を検知し  
迅速な解決を計る「対応」

## 解決すべき課題

複数のSOCやマネージドセキュリティサービスを利用している事によるサイロ化が、迅速な対応を阻んでいる。

Why Kyndryl?

## 統合SOCで複雑化する セキュリティ情報を一元管理

セキュリティ情報管理では、世界各国のセキュリティに関する知見の活用、リモート化に伴う多種多様なシステム管理、内部不正監査など、業務が広範囲にわたります。このような**複雑化する情報を統合SOCで最適化し一元管理**。またAIによる事前の脅威検出等を駆使し、ブランド、顧客など**周囲への影響を限定的に**します。



インシデント後の  
ビジネス再開につなげる  
「復旧」

## 解決すべき課題









BCPの策定はできたが、サイバーインシデントによる被害の復旧までは想定できていない。

Why Kyndryl?

## インシデントリカバリーサービスで リスクを抑える

サイバー攻撃を受けてしまったときに**重要になるのは、いかに迅速な復旧ができるか**という点です。キンドリルでは**マルチクラウドを含む異なるプラットフォームを共通した仕組みで統合的に管理・運用**。また**データ保護、データ異常検知、復旧プロセスの自動化と導入を支援**し、日々変化するサイバー脅威に対応します。

# サイバーレジリエンス、取り組んでいますか？

 <p>政府や業界のセキュリティガイドラインへの対応が難しい・・・</p>	 <p>予測</p>	キンドリルはグローバルを見据えたIT運用にまつわるコンプライアンス&ガバナンスの体制作りやポリシー策定を支援します。
 <p>どのようにゼロトラストを適用すればいいかわからない</p>	 <p>防御</p>	キンドリルではゼロトラストアーキテクチャーに基づき、ベンダーフリーの最適解をエキスパートが支援します。
 <p>複数のセキュリティベンダーに委託しすぎて、把握しきれていない</p>	 <p>対応</p>	キンドリルは統合SOCやインシデントリカバリーサービスで全体を見据えたセキュリティ運用を支援します。
 <p>ランサムウェアの被害にあった際のデータ復旧方法が確立できていない</p>	 <p>復旧</p>	キンドリルは万一の際にも確実にバックアップデータを復旧するための、ソリューション導入や計画立案を支援します。

## The Heart of Progress.™ 社会成長の生命線™

私たちは、「社会成長の生命線」として世の中に必要不可欠なテクノロジー・システムを日々デザイン、構築、運用し、モダナイズしていく会社です。Kyndryl Vital、Kyndryl Bridge、Kyndryl Consultを組み合わせた総合的なアプローチで、お客様が目指す未来像や成果にむけて、ITインフラを進化させます。

### kyndryl vital

複雑なビジネス課題を解決するオープンな共創体験の場として、アイデアのプロトタイプ作成と検証を行い、実行可能な計画を共創します。問題定義から成果物の作成まで、最適なロードマップを共に描いていきます。

### kyndryl bridge

データドリブンの洞察や専門知識を活用してITソリューションを提供するオープンな統合プラットフォームです。IT運用知識とIPとを組み合わせ、自動化や効率の最適化を推進し、新しいレベルのIT運用・管理を実現します。

### kyndryl consult

Kyndryl Bridgeプラットフォームのデータ洞察とKyndryl Vitalの共創的に問題解決を図る取り組みを活用し、複雑なIT環境への対応とビジネス成果の拡大を支援します。共創した道筋を本番環境で実現するシステム設計や構築を行います。

お問い合わせ <https://www.kyndryl.com/jp/ja/contact-us>

© Copyright Kyndryl Inc. 2023 Kyndryl は、米国もしくはその他の国における Kyndryl Inc. の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ Kyndryl Inc. または他社の商標である場合があります。本資料は発行時点で最新のものであり、キンドリルが随時予告なしに変更する可能性があります。キンドリルが事業展開するすべての国で、全製品もしくはサービスが利用できるわけではありません。キンドリルの製品およびサービスは、提供されている契約書の条件および制約に基づき保証されます。記載されている性能データとお客様事例は、例として示す目的でのみ提供されています。実際の結果は特定の構成や稼働条件によって異なります。キンドリルの製品およびサービスは、提供されている契約書の条件および制約に基づき保証されます。